

産業廃棄物処理計画書

平成25年 6月12日

大分県知事 殿

提出者

住所 福岡市博多区下川端町1-1

氏名 株式会社フジタ 九州支店  
執行役員支店長 工藤 強

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 092-281-0664

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社フジタ 九州支店
事業場の所在地	福岡市博多区下川端町1-1
計画期間	平成25年 4月 1日 から 平成26年 3月31日

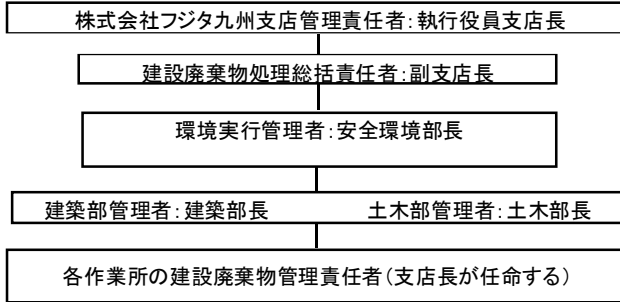
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D：建設業 06：総合工事業 0611：一般土木建築工事業
②事業の規模	九州支店完工高 157億5千万円（平成25年3月期）
③従業員数	(株)フジタ 九州支店 84人

④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR     A["(株)フジタ九州支店 大分県内 作業所"] --&gt; B["委託契約会社の 収集運搬車"]     B --&gt; C["委託契約会社の"]     B --&gt; D["委託契約会社の"]             </pre>		
-----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度（平成24年度）実績】 別紙1のとおり</b>		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	排出量	2,150.6 t	t
	(これまでに実施した取組)  ・発生量はマニフェスト管理システムにより把握している。 ・発生抑制は梱包材簡素化、実寸発注、余剰材の引取り等を実施。		
②計画	<b>【目標】 別紙1のとおり</b>		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	排出量	1,957.0 t	t
	(今後実施する予定の取組)  ・管理システムの内容の充実を進める。(計画と実績の対比等) ・工法の改善、ユニット化等を進め発生を抑制していく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  特定建設資材廃棄物(コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材) 金属くず、廃石膏ボード 保管施設に分別ボックスを設置
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  同様の取組みを推進

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	<b>【前年度（平成24年度）実績】 別紙1のとおり</b>		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	<b>【目標】 別紙1のとおり</b>		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	<b>【前年度（平成24年度）実績】 別紙1のとおり</b>		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	<b>【目標】 別紙1のとおり</b>		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成24年度）実績】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成24年度）実績】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	全処理委託量	2,150.6	t
	優良認定処理業者への処理委託量	14.2	t
	再生利用業者への処理委託量	2,118.6	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
(これまでに実施した取組)			
電子マニフェスト採用業者での委託契約締結促進（新規からは必須化）			

		【目標】 別紙1のとおり		
		産業廃棄物の種類	建設廃棄物	
②計画	全処理委託量	1,957.0	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	12.9	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,927.9	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
同様の取組みを推進				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(平成 2 4 年度)実績量

計画：今年度(平成 2 5 年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項	
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻	3.4	3.1								
汚泥		0.0								
廃油		0.0								
廃酸		0.0								
廃アルカリ		0.0								
廃プラスチック類	58.2	53.0								
紙くず	11.3	10.3								
木くず	86.3	78.5								
繊維くず	0.8	0.7								
動物性残さ		0.0								
ゴムくず		0.0								
金属くず	2.2	2.0								
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	31.1	28.3								
鉱さい		0.0								
がれき類	1,758.7	1,600.4								
ばいじん		0.0								
混合廃棄物(建設系)	28.2	25.7								
廃石膏ボード	170.0	154.7								
石綿含有(ガラス陶磁器)	0.4	0.4								
合計	2,150.6	1,957.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	処理委託に関する事項									
	全処理委託量		優良認定処理業者への 処理委託量		再生利用業者への 処理委託量		認定熱回収業者への 処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回 収業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻	3.4	3.1		0.0						
汚泥	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0				
廃油	0.0	0.0	11.7	10.6	0.0	0.0				
廃酸	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0				
廃アルカリ	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0				
廃プラスチック類	58.2	53.0		0.0	58.2	53.0				
紙くず	11.3	10.3		0.0	11.3	10.3				
木くず	86.3	78.5		0.0	86.3	78.5				
繊維くず	0.8	0.7		0.0	0.8	0.7				
動物性残さ	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0				
ゴムくず	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0				
金属くず	2.2	2.0	2.5	2.3	2.2	2.0				
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器 くず	31.1	28.3		0.0	31.1	28.3				
鋳さい	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0				
がれき類	1,758.7	1,600.4		0.0	1,758.7	1,600.4				
ばいじん	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0				
混合廃棄物(建設系)	28.2	25.7		0.0						
廃石膏ボード	170.0	154.7		0.0	170.0	154.7				
石綿含有(ガラス陶磁器)	0.4	0.4		0.0						
	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0				
	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0				
	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0				
	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0				
	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0				
合計	2,150.6	1,957.0	14.2	12.9	2,118.6	1,927.9	0.0	0.0	0.0	0.0